

平成25年度鹿児島県広報コンクール

- ① 市町村 ② 更新頻度 ③ アクセス件数

■ウェブサイト部門

〈 特 選 〉

- ① 霧島市
② 185回／月
③ 39,985件／月



○講評

【企画・目的】

- ・ホームページ担当者は各グループに1名以上おり、迅速な情報発信する姿勢は評価。出来るだけ情報を発信しようという意図が強く感じられる。
- ・重要なお知らせが目にとまる場所にある。

【広報機能】

- ・広報誌との連動の背景もあるだろうが、情報量は圧倒的に多い。

【広聴機能】

- ・パブリックコメントについては、募集案件、終了案件、結果公表案件があり、フィードバックまで良く考慮されている。
- ・パブリックコメントの募集終了案件の質問・意見の内容と、その返答までみることができる。

【構成・表現】

- ・充実したコンテンツ量、さまざまなパターンで目的にたどり着ける、わかりやすく平易な表現となっている。
- ・入口の「くらしの窓」「観光の窓」の大きな振り分け、それぞれの窓のメニュータグ、サイトメニューも分かりやすい。

【操作性・検索性】

- ・Googleカスタム検索を利用、「こんなときどうするの」「情報をさがす」「よくある質問」などがトップページにあり、利用者が分かりやすい。
- ・フォントサイズの変更、背景色の変更、音声読み上げ等の基本機能あり。

【独創性】

- ・種々の事業紹介や広告等のバナーを上手く利用している。
- ・豊富にある写真等のビジュアルコンテンツが素晴らしい。

【リニューアル】

- ・大隅建国1300年など直近の話題やイベントを積極的に取材し、広く市民や全国に発信しているところがよい。
- ・日々の市民からの声など各視点からのホームページ改善に取り組んでいる。

〈 入 選 〉

- ① 薩摩川内市
- ② 42回／月
- ③ 140,000件／月

○講評

[企画・目的]

- ・全ての職員が広報員として新しい情報をすぐに発信する姿勢は評価できる。
- ・「暮らし」「事業者向け」「行政」「観光」の4分類になっていることからわかりやすい。

[広聴機能]

- ・パブリックコメントの機能（募集）はあるが、その募集・質疑の結果（パブリックコメントのフィードバック）が見当たらない。

[構成・表現]

- ・シンプルな構成、わかりやすい平易な表現になっている。

[操作性・検索性]

- ・独自の検索エンジンを利用。一般的によくある質問と回答のようなコーナーは見当たらない。利用者視点では少々使いにくいのでは。
- ・フォントサイズの変更や音声読み上げ等の基本機能あり。

[独創性]

- ・市内の出来事をフォトニュースで発信しており、知っている人が写っているという親近感がある。
- ・地図も工夫されて、公共施設マップ、安全安心マップ、生活情報マップなど多数。



- ① 奄美市
- ② 30回／月
- ③ 52,000件／月



○講評

【企画・目的】

- ・「市民を惹きつけ、観光者を惹きつけ、移住者を惹きつけ、見るものすべてを惹きつける「奄美の引力」を最大限に発揮するホームページ」という意図は素晴らしいし、評価する。
- ・移住者への惹きつけの点ではまだアピールが弱い。
- ・移住に関するバナーが「まち・暮らし」の中に別にあっても良いのでは。

【広聴機能】

- ・パブリックコメント等の広聴機能が見当たらない。
- ・検索エンジンで検索すると過去の広聴内容と回答までのページが見つかるので、体系化したらどうか。

【構成・表現】

- ・メニュータグ、サイトメニュー、バナー等を上手く使い、見やすい表現構成にはなっている。

【操作性・検索性】

- ・Googleカスタム検索を利用。問い合わせフォームはあるが、各部署のフォームが同じである。「よくある質問」も各分野に載ってはいるが見つけにくいので、トップページにも配置すべき。
- ・フォントサイズの変更や音声読み上げ等の基本機能あり。
- ・ユーザビリティも特段不都合は感じない。

【独創性】

- ・奄美の文化・歴史の背景もあるだろうが、旧暦カレンダーを提供している点、スローライフ（移住の内容になっている）のページがトップにある点などを評価。
- ・通信状況が悪い場合でも情報を発信できるシステムにしたという事は離島ならではの対応と考える。